

かりに米露間の戦争危機が現実となったら

平和統一 NEWS No.95 (2016/8月号)

渡辺 久義

1962年のキューバ危機の比でなく、ナチスドイツのロシア侵略の前夜を思わせる、十分に現実化する米 - NATO とロシアの戦争の危機が高まっているのに、西側と日本のメディアは完全に沈黙している。7月9日、NATO ワルシャワ・サミットの出した声明に、このような部分がある――

「2014年以来、同盟国と国際社会の、ロシアに対する、コースを変えるようにという度重なる呼びかけにもかかわらず、その関係のための諸条件が今も存在していないのは残念である。この同盟のロシアとの関係の性質や、パートナーシップを重んずる気持ちは、国際法の順守、国際的義務や責任を果たそうとする意欲を示す、ロシアの行動の、明らかな、建設的な変化いかに懸っている。そうなるまでは、我々は“平常の関係”に戻ることはできない。」

これを引用した国際法学者が言う通り、ロシアが「コースを変える」というのは彼ら NATO の命令を聞くという意味であり、「国際法の順守」とは、NATO の絶対命令を守るということである。よくぞここまで言ったという“強盗の説教”というべきか、事実の見事な転倒である。これは紛れもない宣戦布告だとこの学者は言っている。もちろん、これが完全なウソであることは NATO 代表も知っており、これはプロパガンダ用に意図されたものである。

日本のマスメディアが（“ロシアのドーピング”は報道するが）これを報道しないということは、沈黙することによって、この NATO 声明を支持し、対ロシア戦争を支持することである。そこで話を分かりやすくするために、一足飛びに、世界制覇を狙う現在のアメリカの前身であった、ナポレオンやヒトラーのなしえなかったロシア征服を、米 - NATO がついにやってのけたと仮定しよう。おめでとう！ これによって NWO 実現のための最後の“敵”が滅びた。これによって我々、アメリカの一等従僕国、“名誉白人”の日本人は、“新世界秩序”の要である「主人と奴隷」社会の、主人の側に置いてもらえるはずである。これはあのキッシンジャーの定めた（1974NSC メモ）、人口削減対象国 13 国の中に、日本が入っていない以上、大丈夫なんじゃないか？ 読売新聞などが、正月の新聞のトップにキッシンジャーを飾って恭順の意を示すのは、その意味で賢明なんじゃないか？

なるほど——。しかし我々が、キッシンジャーに付け届けなどして、彼らの“秩序”の上位に組み込んでもらい、“奴隷”用の RFID チップの埋め込みも免除してもらったとして、それで本当にうれしいだろうか？ これを本当にうれしがる人がいたら、それは恥ずべき俗物かつ、（権力エリートのおほとんどがそうだとされる）サイコパスであって、彼らこそ淘汰されるべきである。我々の大多数は、本能的にそういう秩序を拒否する。ということは、彼らの理想社会とは、実はサタンの理想社会であって、それは他人の苦しみや悲しみの上に築かれた幸福、他者の屍の上に築かれた宮殿である。

我々は普通、教えてもらわなくても、そういうものが、本来の宇宙の法則上ありえないことを知っている。我々はカルマ（宇宙的な善悪の清算）というものを本能的に知っているが、彼らはそれを信じないと言われる。彼らは、他人を強制し、あるいは騙して支配し、自分の思い通りに操ることが、すぐれた人間の生き方であり、それが自分たちの使命であると考えている。そこを理解しないと、彼らの行動の多くが理解できない。どうしてこれだけ、とめどもなく戦争を仕掛けるのか？ どうしてこれだけ、他者の人権も、他国の主権も踏みにじるのか？ どうして、憎くもないはずの“敵”を苦しめ、支配しようとするのか？ 彼らはロシアに恨みがあるわけではなく、自分たちの目的つまり世界制覇の邪魔をするというだけである。イラクもリビアもシリアも同じ理由で攻撃している。（イラクへの“恨み” = 9・11 は作ったものである。）

彼らは、主にメディアを使ったプロパガンダによって、自分たちが正義の味方であるように思わせようとするが、我々も、そういつまでも馬鹿ではない。最近、たいていの人がおかしいと思っている。新聞とラジオしかなかったナチスの時代とは違う。ただ、王様は裸だと言う勇気が出せないでいる。

しかし実は彼らも、自分たちの時代の終わりを知っている。大規模なロシア攻撃態勢の恐ろしさの背後に、狂気と自暴自棄のようなものが感じ取れる。人を苦しめて自分が繁栄できるという彼らの（そして彼らの影響下にある我々の）哲学は、もう時代遅れの、阿呆の哲学であることを誰でも腹の中で知っている。今この時期は、この古い哲学が大爆発を起こして消滅し、新しい愛の哲学、人と人が実は生命的にすべて繋がっているという世界観へと、変わろうとする大転換期である。これを、デイヴィッド・ウィルコックやデイヴィッド・アイクなど、多くの人が証言している。古い時代の秩序にしがみつくと者は、新しい時代では生きていけないということである。

この期に及んで、日韓米の結束を呼び掛ける人々よ、君たちは世界を滅ぼす気か？